

沖縄市立泡瀬幼稚園

平成 22 年度の学力向上対策

1. 学対目標

幼児一人一人に確かな学力などの生きる力をはぐくむ
～遊びを通した言語活動・表現活動の充実～

2. 本園における言語活動・表現活動

「幼児一人一人が楽しく表現できる環境の工夫」 ～園行事を通して～

事例 1 毎月の誕生会の中で

出し物や司会などを話し合っ進めていく活動を通して、伝え合おうとする意欲や態度を育みます。



誕生会の司会を自分たちで進めている場面



誕生会でペープサートを発表している場面

事例 2 日常の保育活動、リズム運動を運動会種目へつなげて

毎週 1 回 のリズム運動を通して、音を聞きリズムに合わせて動く等、しなやかな身体や表現力や聞く力を育みます。



普段は遊戯室でリズム運動。



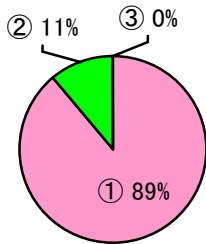
運動会！のびのびと「かめのポーズ」

3. アンケート調査（生活実態調査より）

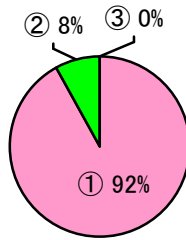
質問3 毎日、朝食をとらせていますか。

- ①毎日とらせている ② 日によってちがう ③ とらせていない

【5月】



【1月】



質問3の[考察]

1回目のアンケートで、毎日朝食をとって登園してきている子が89%を占め、喜ばしいことである。しかし、「日によってちがう」という回答も1割いることから、朝ごはんを食べることのメリットを伝え、元気に活動するための源であることを知らせていった。

後半は、少しであるが良くなっていた。

4. 成果と課題

成 果

- ・入園から6月頃までは『聞くこと』を中心としていくことで、相手の話を注意して聞くようになった。しっかり聞くことができると、自分の思いを伝えるように話したり、題材についてグループで話し合いを進めたりできるようになったと思われる。
- ・行事の際、役割分担をすることで、みんなで創り上げる行事の意識が芽生え、目標をもち協力して進める姿が見られた。

課 題

- ・発表や表現できる場を設けても中には、自分から進んで話すことが苦手な子がいる。まずは、学級でのグループ単位で話す経験をさせ、徐々に自分の伝えたいことなど表現できるようにしていきたい。